

朗読で元気をつなぐ プロジェクト

開催報告書 2014



朗読で元気をつなぐ
プロジェクト

2014年12月

NPO法人キャンサーリボنز

運営協力：株式会社博報堂

目次

実施概要	2
「喘息患者さんのための朗読ワークショップ」概要	5
「乳がん患者さんのための朗読ワークショップ」概要	7
「糖尿病患者さんのための朗読ワークショップ」概要	9
ワークショップで朗読した書籍	11
朗読体験キーワード	12
体験メッセージ	16
メディア掲載	20
配布資料	33
成果と課題	39

- 目的 「言葉と声には力がある」という思いが、当プロジェクトの原点です。病気という共通の体験をされた患者さん同士が、声を出して本を読む楽しさを体験するとともに、朗読を通して感じたことや、自身の病気体験、思い、悩みを共有することができる交流の場を提供します。その結果、患者さんの中に新たな共感が生まれ、元気がつながっていくことを目指します。

■開催概要

テーマ	【喘息】 喘息患者さんのための 聴く・読む・話す 朗読の会	【乳がん】 乳がん患者さんのための 聴く・読む・話す 朗読の会	【糖尿病】 糖尿病患者さんのための 聴く・読む・話す 朗読の会
日時	7月26日(土) 13:30～15:30	9月15日(月・祝) 13:30～15:45	11月29日(土) 14:00～16:15
会場	【東京】 パソナグループ本部 会議室	【三重】 ホテルグリーンパーク津 6階	【徳島】 徳島市シビックセンター ホール
参加者数	34名 ＜参加者内訳＞ ・患者さん/ご家族/ 28名 喘息関係NPO ・協賛社社員 5名 ・キャンサーリボنز 1名	28名 ＜参加者内訳＞ ・患者さん/ご家族 20名 ・協賛社社員 4名 ・キャンサーリボنز 4名	22名 ＜参加者内訳＞ ・患者さん/ご家族 12名 ・医療者/看護学生 8名 ・協賛社社員 3名
主催	朗読で元気をつなぐプロジェクト (一般社団法人軽井沢朗読館 NPO法人キャンサーリボنز)		
協賛	アストラゼネカ株式会社		
後援協力	喘息患者の声を届ける会 【NPO法人環境汚染等から呼吸器病患者を守る会、NPO法人相模原アレルギーの会、近畿大学ひまわり会日本喘息患者会連絡会、認定NPO法人日本アレルギー友の会】 株式会社パソナグループ	NPO法人三重乳がん検診ネットワーク 三重県立図書館	公益財団法人日本糖尿病協会 徳島県糖尿病協会 公益社団法人徳島県看護協会

■講師紹介

[朗読] 青木 裕子(軽井沢朗読館 館長、元NHKアナウンサー)

1973年NHKに入局、アナウンサーとしてテレビ・ラジオで活躍。
2010年の定年退職後「軽井沢朗読館」を設立し、ライフワークである朗読活動に本格的に取り組む。朗読を通じて病気を抱える方との交流が深まり、朗読の指導も行う。日本文芸家協会会員。



[ファシリテーター]

岡山慶子 (NPO法人キャンサーリボنز 副理事長)

NPO法人キャンサーリボنزでの、がん患者さんの生活サポートのほか、持続可能で多様性のある社会の実現に向けた活動などを実践。
原点は、病気を抱える人や障害のある人など社会的弱者に寄り添い、支えあう視点である。産業カウンセラー。



[サブファシリテーター]

田村調子 (NPO法人キャンサーリボنز)

産業カウンセラー

■主催団体紹介

[一般社団法人軽井沢朗読館]

元NHKアナウンサーである青木裕子理事長の、「誰もが自由に好きな文章を声に出せたらいいな」という思いを出発点として、美しい日本語の響きを楽しみたい、朗読の楽しさを一人でも多くの人に知っていただきたい、そしてそれを分かち合いたい、という願いに共感するたくさんの方々の協力により、2010年5月設立。軽井沢の自然の中に立つ軽井沢朗読館は日本初の朗読専用ホールであり、多彩なゲストも招いての朗読イベントには多くの人が訪れています。

[NPO法人キャンサーリボنز]

がん患者さんの「治療と生活」をつなぎ、「少しでも心地よい自分らしい生活の実現」を目2008年に設立。①生活の質向上につながる様々なテーマ別のプロジェクト—働く・美・食などの推進、②ケア情報を提供し患者さんやご家族が集うことができる「リボنزハウス」の展（2013年9月在全国で19ヵ所）、③「6月21日はがん支えあいの日」を中心とした支えあい啓発活動、の3つを活動中。
「朗読で元気をつなぐプロジェクト」では、がんだけでなく、喘息、糖尿病といった慢的なご病気をお持ちの方やご家族を対象とし、より広く社会全体での支えあい活動につなげます。

「喘息患者さんのための 聴く・読む・話す 朗読の会」

【開催日時】 7月26日(土) 13:30～15:30 (会場:【東京】パソナグループ本部)

＜プログラム＞

■ごあいさつ NPO法人キャンサーリボンズ 副理事長 岡山慶子

「喘息患者さんのための朗読ワークショップ」のオープニングに際し、NPO法人キャンサーリボンズ 副理事長 岡山慶子さんより、主催者を代表してご挨拶させていただきました。

また、協力団体「喘息患者の声を届ける会」を代表して、副理事長 武川篤之さんにご挨拶いただきました。



■朗読を聴いてみる 軽井沢朗読館 館長 青木裕子

軽井沢朗読館 館長 青木裕子さんが、絵本「くまとやまねこ」の朗読を披露しました。

青木さんの表情豊かな朗読に、参加者全員が耳を傾けました。

続いて、青木さんより朗読指導。

「地声で」「気持ちや情景を思い浮かべて」「自分の前に座っている人に届けるくらいの声の大きさで」という、具体的な3つのポイントを教えてくださいました。



■朗読ワークショップ ファシリテーター 岡山慶子

ファシリテーター岡山慶子さんの説明の後、各自が読みたい本ごとに3～4人ずつのグループに分かれて着席しました。(ワークショップで使用した書籍は、P12に掲載しています。)

【グループワーク】 輪読

ファシリテーター岡山慶子さんの指導の後、グループごとに輪読。

青木裕子さんが、テーブル間を巡回して朗読のアドバイスをを行いました。



「喘息患者さんのための 聴く・読む・話す 朗読の会」

【グループワーク】 気持ちのシェア

「自分が声を出したこと」「他の人の声を聴いて」「どう思ったかなど、声を出す時間を共有した気持ちをシェアしました。

続いて、喘息という共通の体験について語り合いました。



【グループワーク】 まとめ

参加者全員に、今日の体験をキーワードにまとめて画用紙に書いていただきました。輪になってその用紙を掲げ、キーワードや気持ちを共有しました。



■朗読 軽井沢朗読館 館長 青木裕子

昨年の朗読会の際に寄せられたメッセージ3篇(喘息・乳がん・糖尿病 各1篇)を青木裕子さんに朗読していただきました。

■閉会

NPO法人キャンサーリボنز 副理事長 岡山慶子の閉会の挨拶の後、希望者(参加者全員)で記念撮影し、閉幕しました。



【開催日時】 9月15日(月・祝) 13:30～15:45 (会場:【三重】ホテルグリーンパーク津)

<プログラム>

■ごあいさつ NPO法人キャンサーリボنز 副理事長 岡山慶子

「乳がん患者さんのための朗読ワークショップ」のオープニングに際し、NPO法人キャンサーリボنز 副理事長 岡山慶子さんより、主催者を代表してご挨拶させていただきました。



■朗読を聴いてみる 軽井沢朗読館 館長 青木裕子

軽井沢朗読館 館長 青木裕子さんが、絵本「くまとやまねこ」の朗読を披露しました。
表情豊かな青木さんの朗読に、参加者全員が聞き入りました。

続いて、青木さんより朗読のポイント指導がありました。



■朗読ワークショップ ファシリテーター 岡山慶子

ファシリテーター岡山慶子さんの説明の後、各自が読みたい本ごとに5～6人ずつのグループに分かれて着席しました。
(ワークショップで使用した書籍は、P12に掲載しています。)

【グループワーク】 輪読

青木裕子さんが、テーブル間を巡回して朗読のアドバイスを行いました。



【グループワーク】 気持ちのシェア

「自分が声を出したこと」「他の人の声を聴いて」についてどう思ったか等、声を出す時間を共有した気持ちをシェアしました。

続いて、乳がんという共通の体験について語り合いました。



「乳がん患者さんのための 聴く・読む・話す 朗読の会」

【グループワーク】 まとめ

今日の体験をキーワードにまとめて画用紙に書いていただきました。参加者全員が輪になってその用紙を掲げ、自分のキーワードを一人ずつ紹介していき、気持ちを共有しました。



■朗読 軽井沢朗読館 館長 青木裕子

昨年の朗読会の際に寄せられたメッセージ3篇(喘息・乳がん・糖尿病 各1篇)を青木裕子さんに朗読していただき、メッセージを通して、参加者全員で体験や気持ちをシェアしました。

■閉会

NPO法人キャンサーリボンス 副理事長 岡山慶子の閉会の挨拶の後、希望者で記念撮影をし、閉幕しました。



【当日のメディア誘致について】

開催当日、中日新聞(三重総局)と伊勢新聞の取材を受けました。

伊勢新聞(1面)は、9月17日(水)に1面に大きく記事掲載されました。また、中日新聞は、10月7日(火)に医療面で掲載されました。



「糖尿病患者さんのための 聴く・読む・話す 朗読の会」

【開催日時】 11月29日(土) 14:00～16:15 (会場:【徳島】シビックセンターホール)

<プログラム>

■ごあいさつ

NPO法人キャンサーリボنز 副理事長 岡山慶子

「糖尿病患者さんのための朗読ワークショップ」のオープニングに際し、NPO法人キャンサーリボنز副理事長 岡山慶子さんより、主催者を代表してご挨拶させていただきました。

また、後援団体を代表して、公益財団法人徳島県看護協会 第一副会長 吉永純子様よりご挨拶をいただきました。



■朗読を聴いてみる 軽井沢朗読館 館長 青木裕子

軽井沢朗読館 館長 青木裕子さんが、絵本「くまとやまねこ」の朗読を披露しました。

青木さんの表情豊かな朗読に、参加者全員が耳を傾けました。

続いて、青木さんより朗読のポイント指導がありました。



■朗読ワークショップ ファシリテーター 岡山慶子

ファシリテーター岡山慶子さんの説明の後、各自が読みたい本ごとに5～6人ずつのグループに分かれて着席しました。(ワークショップで使用した書籍は、P12に掲載しています。)

【グループワーク】 輪読

岡山慶子さんの指導の後、グループごとに輪読。青木裕子さんが、テーブル間を巡回して朗読のアドバイスをを行いました。

【グループワーク】 気持ちのシェア

「自分が声を出したこと」「他の人の声を聴いて」どう思ったかなど、声を出す時間を共有した気持ちをシェアしました。

続いて、糖尿病という共通の体験について語り合いました。



「糖尿病患者さんのための 聴く・読む・話す 朗読の会」

【グループワーク】 まとめ

参加者全員に、今日の体験をキーワードにまとめて画用紙に書いていただきました。
輪になってその用紙を掲げ、自分のキーワードを一人ひとり紹介していき、気持ちを共有しました。



■朗読 軽井沢朗読館 館長 青木裕子

昨年の朗読会の際に寄せられたメッセージ3篇(喘息・乳がん・糖尿病 各1篇)を
青木裕子さんに 朗読していただきました。
メッセージを通して、参加者全員で体験や気持ちをシェアしました。



■閉会

NPO法人キャンサーリボنز 副理事長 岡山慶子
の閉会の挨拶の後、希望者(参加者全員)で記念
撮影し、閉幕しました。



【当日のメディア誘致について】

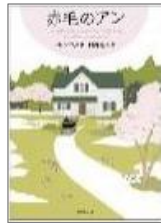
NHK徳島の取材を受け、11月29日当日の18時のニュースで放送されました。
また、NHK徳島の除法番組「とく6徳島」(12月4日)と、「とくしま」
(12月10日)で特集放送されました。



グループワークで朗読した書籍

①赤毛のアンー赤毛のアン・シリーズ〈1〉 (ルーシー・モード・モンゴメリ/村岡花子訳)

新潮文庫



⑤葉っぱのフレディーいのちの旅ー (レオ・バスカーリア)

みらい なな訳
童話屋



②生きることばあなたへ (瀬戸内 寂聴)

光文社文庫



⑥ひとりで生きる (堀 文子)

求龍堂



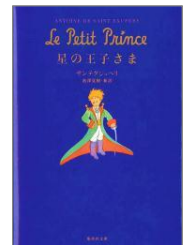
③Dear KAZU (ディア・カズ) 僕を育てた55通の手紙 (三浦知良)

文春文庫



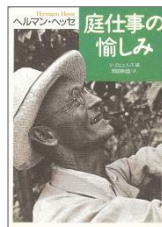
⑦星の王子様 (サンテグジュペリ)

池澤夏樹訳
集英社文庫



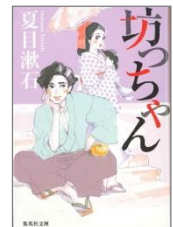
④庭仕事の愉しみ (ヘルマン・ヘッセ)

V・ミヒエルス編
岡田朝雄訳
草思社



⑧坊っちゃん (夏目漱石)

集英社文庫



※「喘息患者さんのための朗読会」では、
全ての書籍を使用。

「乳がん患者さんのための朗読会」では、
①、②、⑤、⑥、⑦、⑨の6冊を使用。

「糖尿病患者さんのため ワークショップ」
では、①、②、④、⑤の4冊を使用。

⑨よくばらない (鎌田 實)

PHP研究所



朗読体験キーワード

ワークショップ当日の体験を【キーワード】で
表現していただき、言葉や気持ちを共有しました

	喘息患者さんのための聴く・読む・話す朗読会(2014.7.26)朗読体験キーワード
1	声をつなぐそして気持ちも！(葉っぱのフレディ)
2	参加できて“ありがとう！”人は必ず誰かの為になっている全てのものにカンシャ！(葉っぱのフレディを読んで)
3	生まれてきてよかったのだろうか(葉っぱのフレディ)
4	和楽
5	心のなかにも、自分の庭をもっていたい。
6	声を出す楽しみ
7	きづく(気づく)
8	自分らしく真剣に生きる
9	笑って生きる
10	冬眠
11	人生は波
12	初対面の方なのに一緒に笑えあえて嬉しかった
13	どん底って実に楽しいポジションです。後は上がるだけなのですから
14	感謝
15	ひとりではない、友だちができて良かったです。
16	きずな
17	ふじ山
18	感
19	共感できる方達との出逢い。
20	びっくり！！
21	共感
22	共・友・伴に生きよう
23	人みしりには良いかも、、、
24	この小さな出逢いにまた“楽”に生きる知恵をいただきました。

	乳がん患者さんのための聴く・読む・話す朗読会(2014.9.15)朗読体験キーワード
1	希望
2	感謝
3	生きる勇氣
4	限りある命
5	♡(ハートの記号)
6	感謝
7	拾った命をおかえしする 感謝
8	自然体
9	誰かのために
10	自分を支えてくれている人々に感謝
11	「今がどん底。これからは上がっていただけ」
12	おまけの人生は楽しく！
13	あるがままに
14	感謝
15	生きること
16	気づき
17	強い
18	中今
19	生きる
20	愛
21	気づく
22	うれしかった!!
23	知ること
24	初体験をさがす
25	私だけじゃない

	糖尿病患者さんのための聴く・読む・話す朗読会(2014.11.29)朗読体験キーワード
1	学び
2	絆
3	一生懸命生きる
4	無財七施
5	傾聴
6	笑顔
7	いのち
8	生きる
9	勇気
10	共有
11	楽しかったです
12	いまを生きる
13	ポジティブ
14	幸せ
15	つながり
16	楽しむ
17	出会い
18	発見
19	出会い
20	勇気
21	楽しむ(時、人と会う)
22	健康に生きる、目的を持つ